



古畑 達雄 社長

ケー・エヌ・エラ・ジャパン

(東京)

「ディーラーメイドポンプ」で世界を席巻！ ガス・液体ダイアフラムポンプの雄

ド

イツ南西部、フランスとスイスの国境近くに位置し、ホワイトアスパラガスやワインの産地として名高いフライブルク。この地で1946年に産声を上げ、世界各地にグループ会社15社を展開するのがKNFグループだ。

ドイツとスイスに研究開発の拠点を置き、フランスとアメリカを加えた5つの製造拠点でガス・液体ダイアフラムポンプを製造している同グループ。製品はマツチ箱大のものから大型のものまで多岐にわたる。多

品種・少量生産のため組み立てはセル生産方式。高精度・高品質を追求し、世界中の名立たる大手メーカーから信頼を獲得している。

「他のポンプメーカーと差別化を図り、ニッチ市場で勝負するのがグループの経営方針。用途・目的・仕様に応じてカスタマイズした「ディーラーメイドポンプ」を提供しています」

こう話すのは日本法人、株式会社ケー・エヌ・エラ・ジャパンの古畑達雄社長だ。シエアの約4割を占めるのは医療分野。人工心臓や人工透析装置、ペイシヤント・モニター、いびき・睡眠時無呼吸症候群防止装置など、様々な機器に同社製ポンプが用いられている。他にも生化学分析装置や滅菌装置、産業用インクジェット

プリンター、食品分野など医療以外にも活躍。企業や大学の研究所では、小型で長寿命なラボ用ポンプが重宝されている。

同グループでは、売上の10%をR&D(研究開発)に投資。業界のテクノロジーリーダーとしてこれまで100以上の特許を取得し、燃料電池分野など新たな需要の創造にも努めている。

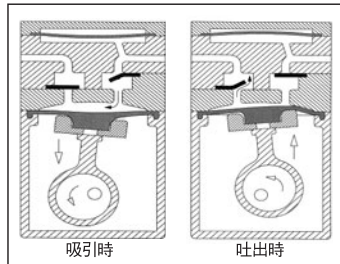
営業担当と技術者が週2回ミーティングを実施し、情報共有も徹底。顧客へのヒアリングを通じて課題を抽出するなど、世界中から汲み取ったユーザーの声を製品開発に反映している。

人材育成に注力
日本市場の要求仕様を満たす

東京理科大学では電気工学を専攻した古畑社長。コ



ハイフローダイアフラムポンプ



特許技術の「共振ダイアフラム」(液体ポンプ)

長は展望を話す。

「2025年までの十数年で現状の約3・5倍の売上達成を目指しています。日本の潜在需要と本社の開発能力をマッチさせ、最適なソリューションを提案するのが当社の使命。今後も日本市場の要求仕様を満たす製品を届けていきます」(森)

「自社製品はもちろん、お客様の製品をしっかりと理解する姿勢が、課題解決提案型営業には不可欠。同時に、お客様に当社製品への理解を深めていただくための啓蒙活動も欠かせません。一人前の課題解決提案型営業を育成するために、2〜3年の時間を費やしています」(古畑社長)

日本法人として今年で30周年を迎えた同社。古畑社

【会社データ】

本社 東京都中央区新川1-16-14
アネックス3F
☎03-3551-7931
設立 1983年6月
資本金 4000万円
事業内容 Ⅱガス用ダイアフラムポンプ・液体用ポンプの輸入・販売・技術サービス
<http://www.knf.co.jp>